

第39回管理栄養士国試対策模擬試験
「かんもし」的中問題*

2025年「かんもし」から、71問的中しました！



的中問題数		
第1回	14問	合計
第2回	31問	71問
第3回	26問	

*的中問題とは、国試問題に対して①正答肢と内容が一致した選択肢を含む問題、②誤答肢と内容が一致した選択肢を2肢以上含む問題としています。

2025年かんもしの問題

第3回問題195

K県内の市町村の脳血管疾患の現状をアセスメントするため、各市町村の脳血管疾患による標準化死亡比(SMR)を算出した。K県内のA市と近隣の市町村であるB市における脳血管疾患死亡数と年齢階級別人口を表に示す。基準集団となるK県を100とした場合のA市とB市の粗死亡率と標準化死亡比に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) A市の粗死亡率は、B市より低い。
- (2) B市の粗死亡率は、基準集団より高い。
- (3) A市の標準化死亡比は、B市より低い。
- (4) A市の標準化死亡比は、基準集団より高い。〔O〕
- (5) B市の標準化死亡比は、基準集団より高い。

第3回問題4

疾病Aの有病率が20%である1,000人の集団に対して、敏感度80%、特異度70%のスクリーニング検査を行ったときに、検査陽性となる者の期待人数(人)である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 160
- (2) 200
- (3) 360
- (4) 400 〔O〕
- (5) 560

第3回問題7

睡眠に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 近年の国民健康・栄養調査における1日の平均睡眠時間で最も割合が高いのは、5時間未満である。
- (2) 高齢者では、床上時間が8時間以上となるよう必要な睡眠時間を確保する。
- (3) 朝食の欠食は、睡眠休養感を低下させる。〔O〕
- (4) 就寝前の飲酒は、良い睡眠をもたらす。
- (5) 慎日リズムは、部屋を暗くすることでリセットされる。

第2回問題10

わが国の社会保障における社会保険、社会福祉、**公的扶助**、保健医療・公衆衛生に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 乳児家庭全戸訪問事業は、社会保険である。
- (2) **生活保護**は、保健医療・公衆衛生である。
- (3) 労働者災害補償保険は、保健医療・公衆衛生である。
- (4) 年金制度は、公的扶助である。
- (5) 養護老人ホームの設置は、社会福祉である。〔O〕

第1回問題12

市町村保健センターに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 障害者総合支援法を根拠法として設置されている。
- (2) 市町村において1施設以上設置する義務がある。
- (3) 都道府県の指示のもとに業務を行う。
- (4) 食中毒の発生時に調査を行う。
- (5) 乳幼児健康診査を行う。〔O〕

第3回問題14

地域保健に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地域支援事業の実施主体は、都道府県である。
- (2) 市町村保健センターの設置は、介護保険法に規定されている。
- (3) 保健所は、全国で約2,400か所設置されている。
- (4) 飲食店の営業許可の立入検査は、市町村保健センターが行う。
- (5) 地域包括支援センターは、**地域住民の権利擁護業務**を行う。〔O〕

第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題

問題4

A地域およびB地域の年齢階級別人口と、基準集団の年齢階級別死亡率を表に示す。A地域の死亡数は12,000人、B地域の死亡数は12,000人であった。標準化死亡比は、表中の基準集団を100とする。A地域とB地域の比較に関して、この表から読み取れる内容の記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) A地域の老人人口割合は、B地域よりも高い。
- (2) A地域の粗死亡率は、B地域よりも高い。
- (3) A地域の死亡数は、期待死亡数と同じである。
- (4) A地域の期待死亡数は、B地域の期待死亡数よりも多い。
- (5) A地域の標準化死亡比は、B地域の標準化死亡比よりも高い。〔O〕

問題5

集団Aと集団Bのスクリーニング結果を比較した(表)。集団Bの方が高い指標として、最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 敏感度
- (2) 特異度
- (3) 偽陽性率
- (4) 陽性反応の中度〔O〕
- (5) 陰性反応の中度

問題7

生活習慣(ライフスタイル)の評価と対策に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 健康日本21(第二次)の最終評価において、「運動習慣者の割合の増加」は「目標値に達した」と評価された。
- (2) 健康日本21(第二次)の最終評価において、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少」は「目標値に達した」と評価された。
- (3) 健康日本21(第三次)では、休養・睡眠に関する指標として、具体的な睡眠時間は設定されていない。
- (4) 健康づくりのための睡眠ガイド2023では、高齢者の床上時間は8時間以上にならないことが目安とされている。〔O〕
- (5) ブリンクマン指数は、1日の喫煙本数に「喫煙開始年齢」を乗じた値である。

問題13

わが国の社会保障制度を構成するもののうち、**生活保護**が該当するものとして、最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 社会保険
- (2) 恩給
- (3) **公的扶助**〔O〕
- (4) 保健医療・公衆衛生
- (5) 社会福祉

問題14

市町村保健センターに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 市町村は、設置しなければならない。
- (2) センター長は、原則として医師でなければならない。
- (3) 食品衛生の監視を行う。
- (4) 住民の健康相談を担う。〔O〕
- (5) 地域における健康危機管理の拠点となる。

問題16

高齢者の介護に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 直近の国民生活基礎調査(大規模調査年)によると、要介護者となった原因として最も多いのは、年齢にかかわらず脳卒中である。
- (2) 介護保険制度における保険給付の財源は、全額が被保険者から徴収した保険料である。
- (3) 介護保険制度における予防給付サービスは、要介護者が対象である。
- (4) 介護老人保健施設では、医学的管理は行われない。
- (5) 地域包括支援センターの業務には、権利擁護に関する業務が含まれている。〔O〕

2025年かんもしの問題	第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題
第3回問題18 糖質と脂質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) フルクトースは、アルデヒド基をもつ。 (2) アミロースは、 α -1,6 グリコシド結合をもつ。 (3) ホスファチルコリンは、誘導脂質である。 (4) バルミチン酸の炭素数は、20 個である。 (5) プロスタグランジンは、アラキドン酸から合成される。〔O〕	問題18 アミノ酸・たんぱく質・糖質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) アミノ酸は、両性化合物である。〔O〕 (2) たんぱく質の二次構造は、ジスルフィド結合により形成される。 (3) たんぱく質は、プロテアソームにより折りたたまれる。 (4) フルクトースは、アルデヒド基をもつ。 (5) でんぶんは、 β -1,4 グリコシド結合をもつ。
第2回問題20 生体エネルギー源と代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 電子伝達系は、ミトコンドリアの外膜にある。 (2) AMP は、高エネルギー化合物である。 (3) クレアチニン酸は、ATP の加水分解に用いられる。 (4) 脱共役たんぱく質 (UCP) は、熱産生を促進する。〔O〕 (5) グルタチオンは、活性酸素産生を促進する。	問題19 生体エネルギー源と代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) AMP は、分子内に高エネルギー結合をもつ。 (2) ホスホエノールビルビン酸は、高エネルギー化合物である。〔O〕 (3) 電子伝達系は、ミトコンドリアの外膜にある。 (4) 電子伝達系の電子受容体は、窒素分子である。 (5) 脱共役たんぱく質 (UCP) による熱産生は、ATP の合成を伴う。
第1回問題23 腫瘍に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 肉腫は、上皮性の悪性腫瘍である。 (2) 良性腫瘍は、悪性腫瘍と比べて細胞の増殖が速い。 (3) 悪性腫瘍は、良性腫瘍と比べて浸潤しやすい。〔O〕 (4) 播種は、がん細胞がリンパ管を介して広がる転移様式である。 (5) がん抑制遺伝子は、がん細胞のアポトーシスを抑制する。	問題22 加齢・疾患に伴う変化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) テロメアは、細胞分裂を繰り返すと長くなる。 (2) 肉芽組織は、線維芽細胞に富んでいる。〔O〕 (3) 良性腫瘍は、悪性腫瘍に比べて細胞の分化度が低い。 (4) 上皮性の悪性腫瘍は、肉腫と呼ばれる。 (5) 脳死では、自発呼吸がみられる。
第1回問題29 循環器疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 急性心筋梗塞では、血清クレアチニナーゼ (CK) 値が低下する。 (2) 狹心症による胸痛には、ニトログリセリンが有効である。〔O〕 (3) 深部静脈血栓症は、脇塞栓を引き起こす。 (4) 心房細動は、脳出血のリスク因子である。 (5) 仮面高血圧とは、家庭血圧は正常だが診察室血圧が基準より高いものをいう。	問題29 循環器疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 心室細動では、心拍出量が増加する。 (2) 深部静脈血栓症では、急性脇塞栓を起こす。〔O〕 (3) 右心不全では、肺うっ血がみられる。 (4) 心不全では、血中BNP (脳性ナトリウム利尿ペプチド) 値が低下する。 (5) 重度の貧血では、低心拍出性心不全がみられる。
第1回問題30 腎臓の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) ネフロンは、糸球体とポーマン嚢で構成される。 (2) 糸球体では、赤血球が濾過される。 (3) 傍糸球体装置は、レニンを分泌する。〔O〕 (4) 遠位尿細管では、グルコースが再吸収される。 (5) 原尿の生成量は、尿の約10倍である。	問題30 腎・尿路系の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 1個の腎臓には、約1万個のネフロンがある。 (2) ヘンレ係蹄は、遠位尿細管と集合管との間に存在する。 (3) 近位尿細管では、グルコースが再吸収される。〔O〕 (4) 健常成人の1日当たりの糸球体濾過量は、約1.5L である。 (5) 健常成人の尿比重は、1.100 以上に調節されている。
第3回問題34 内分泌疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 尿崩症では、尿浸透圧が上昇する。 (2) 甲状腺機能低下症では、体重減少がみられる。 (3) 原発性副甲状腺機能亢進症では、テタニーがみられる。 (4) クッシング症候群では、低血糖がみられる。 (5) 褐色細胞腫では、高血糖がみられる。〔O〕	問題32 甲状腺・副甲状腺の疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) バセドウ病では、血中LDLコレステロール値が上昇する。 (2) バセドウ病では、血中甲状腺刺激ホルモン (TSH) 値が上昇する。 (3) 橋本病では、基礎代謝が亢進する。 (4) 副甲状腺機能亢進症では、腎臓におけるカルシウム再吸収が抑制される。 (5) 副甲状腺機能低下症では、テタニーが起こる。〔O〕
第1回問題24 主な症候に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 吐血とは、気道や肺からの出血を吐き出すことである。 (2) 浮腫は、血清アルブミン値の上昇により生じる。 (3) チアノーゼは、還元ヘモグロビンが増加することで生じる。〔O〕 (4) ショック状態では、血圧が上昇する。 (5) 意識障害は、JCS (Japan Coma Scale) の点数が低いほど重度である。	問題39 血液系の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) ヒトのヘモグロビンは、2本のグロビンからなる二量体である。 (2) ヘモグロビンと酸素の親和性は、ヘモグロビンと一酸化炭素の親和性よりも高い。 (3) 還元ヘモグロビン濃度が上昇すると、チアノーゼが出現する。〔O〕 (4) エリスロポエチンは、白血球の成熟を促す。 (5) プラスミンは、凝固因子である。
第3回問題50 植物性食品とその食品の主な香気・におい成分の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) たまねぎ ————— ジプロピルジスルフィド 〔O〕 (2) まつたけ ————— レンチオニン (3) きゅうり ————— ヘキセナール (青葉アルデヒド) (4) バナナ ————— ヌートカトン (5) ぶどう ————— シトラール	問題44 きのこ類に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 干しきいたけの香りの主成分は、ヌートカトンである。 (2) まつたけの香りの主成分は、ノナジエノールである。 (3) きくらげは、7-デヒドロコレステロールを含む。 (4) 傘が7割程度開いた肉厚の干しきいたけを、どんこ (冬菇) という。〔O〕 (5) トリュフは、コナラなどの原木で栽培される。

2025年かんもしの問題

第2回問題54

- 自然毒食中毒に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。
- じゃがいもの緑変部に含まれる主な有毒成分には、アコニチンがある。
 - 下痢性貝毒による食中毒の原因となる主な有毒成分には、ディノフィリストキシンがある。〔○〕
 - イシナギの肝臓の多量摂取では、ビタミンD過剰症が起こる。
 - フグによる食中毒の原因となる有毒成分は、100°C、4時間の加熱で無毒化される。
 - 青うめに含まれる青酸配糖体は、リナマリンである。

第2回問題55

食品中の有害物質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- パツリンは、かんきつ類の腐敗菌によって産生される。
- フモニシンは、トウモロコシから検出されるカビ毒である。〔○〕
- カドミウムは、米から検出されてはならない。
- 畜牛の頭部の皮は、異常ブリオンの特定危険部位である。
- わが国では、じゃがいもの発芽防止目的でベータ線の照射が用いられている。

第2回問題57

食品表示基準に基づく一般用加工食品の表示に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- 栄養成分等の含有量は、1食分当たりでの表示は認められていない。
- 100g当たりの食塩相当量が0.1gの場合は、「食塩ゼロ」と表示できる。
- コレステロールの量の表示は、推奨されている。
- えびを原材料に含む場合は、アレルゲンとしての表示が義務付けられていない。
- 原料・原産地表示は、加工原材料のうち重量割合が最も高い原材料が対象である。〔○〕

第1回問題59

栄養機能食品として表示が認められている栄養成分と栄養機能表示の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- ビタミンB₁₂——「正常な血液凝固能を維持する栄養素です」
- パントテン酸——「皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です」〔○〕
- ビタミンD——「夜間の視力の維持を助ける栄養素です」
- 鉄——「正常な血圧を保つのに必要な栄養素です」
- カルシウム——「将来の骨粗鬆症のリスクを減らす栄養素です」

第3回問題60

食品加工に利用される酵素とその利用の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- ヘスペリジナーゼ——食肉の軟化
- ポリフェノールオキシダーゼ——みかん缶詰の白濁防止
- インペルターゼ——転化糖の製造〔○〕
- トランスクルタミナーゼ——紅茶の発酵
- プロメライン——かまぼこの製造

第1回問題69

摂食量の調節に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- レプチニンの分泌増加は、摂食を促進する。
- コレシストキニンの分泌増加は、摂食を促進する。
- インスリンの分泌増加は、摂食を抑制する。〔○〕
- 血中遊離脂肪酸の濃度上昇は、摂食を抑制する。
- グレリンの分泌増加は、摂食を抑制する。

第2回問題69

消化の調節に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- 胃相では、胃液分泌が抑制される。
- ガストリニンは、胃酸の分泌を抑制する。
- コレシストキニンは、胆汁中の消化酵素の分泌を抑制する。
- セクレチシンは、消化管の管腔内が酸性に傾くと分泌が促進される。〔○〕
- 消化管運動は、交感神経系により促進される。

第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題

問題51

自然毒食中毒に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- テトロドトキシンは、煮沸処理により無毒化される。
- トリカブトによる食中毒の原因物質は、リコリンである。
- じゃがいものによる食中毒の原因物質は、リナマリンである。
- イヌサフランによる食中毒の原因物質は、イルジンSである。
- シガテラ中毒の主症状は、ドライアイスセンセーションである。〔○〕

問題54

食品中の有害物質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- アフラトキシンM1は、主に落花生から検出される。
- パツリンは、主に米から検出される。
- ベンゾ[a]ピレンは、主に果物から検出される。
- 異常ブリオンは、牛の扁桃に蓄積しやすい。〔○〕
- セシウム137は、主に骨に沈着する。

問題57

食品表示基準に基づく一般用加工食品の表示に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- 脂質は、補給ができる旨の表示に関する基準値がある。
- 不飽和脂肪酸の量は、表示が推奨されている。
- 食塩を使用していない場合は、ナトリウムの含有量にかかわらず食塩相当量を「0」と表示できる。
- 「甘さひかえめ」は、糖類が低減された旨の表示ではない。〔○〕
- 大豆を原材料に含む場合は、アレルゲンとしての表示が義務づけられている。

問題58

栄養機能食品として表示が認められているビタミンと栄養機能表示の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- ビタミンB₁——腸管でのカルシウムの吸収を促進し、骨の形成を助ける栄養素です。
- ビタミンC——抗酸化作用により、体内的脂質を酸化から守り、細胞の健康維持を助ける栄養素です。
- ビタミンD——炭水化物からのエネルギー産生と皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。
- ビタミンE——皮膚や粘膜の健康維持を助けるとともに、抗酸化作用を持つ栄養素です。
- ビタミンK——正常な血液凝固能を維持する栄養素です。〔○〕

問題62

食品とその製造に利用される酵素の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- 水あめ——インペルターゼ
- カッピングシュガー——カタラーゼ
- 果糖ぶどう糖液糖——グルコースイソメラーゼ〔○〕
- 食用油脂——トランスクルタミナーゼ
- 成型肉——ペクチナーゼ

問題68

食欲の調節に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- 空腹感は、出生後の食経験によって形成される。
- 脂肪細胞におけるトリグリセリド分解が亢進すると、満腹感が生じる。
- 満腹中枢は、動脈と静脈の血中グルコース濃度の差が大きいと刺激される。〔○〕
- レプチニンは、主に胃から分泌される。
- グレリンは、食欲を抑制する。

問題69

管腔内消化の調節に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- 腸相は、胃に食物が入ることによって起こる応答である。
- 交感神経は、消化液の分泌を促進する。
- 副交感神経は、消化管の運動を抑制する。
- ガストリニンは、胃酸分泌を抑制する。
- コレシストキニンは、胆囊の収縮を促進する。〔○〕

2025年かんもしの問題	第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題
第3回問題71 栄養素の吸収に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 吸収されたコレステロールは、門脈を介して肝臓に移行する。 (2) 真の消化吸収率は、見かけの消化吸収率よりも高い。 <input checked="" type="radio"/> (3) フルクトースは、エネルギーを利用して吸収される。 (4) ジペプチドは、 Na^+ の共輸送を利用して吸収される。 (5) グルコースは、 H^+ の共輸送を利用して吸収される。	問題70 栄養素の吸収に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) フルクトースは、 Na^+ の濃度勾配を利用して吸収される。 (2) ラクトースを構成する単糖は、SGLT1 により吸収される。 <input checked="" type="radio"/> (3) アミノ酸は、 H^+ の濃度勾配を利用して吸収される。 (4) 短鎖脂肪酸は、主にミセルを形成して吸収される。 (5) コレステロールの吸収は、胆汁酸を必要としない。
第2回問題71 糖質の代謝と他の栄養素との関係に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 赤血球では、エネルギー源としてグルコースは利用されない。 (2) グルコースは、可欠アミノ酸に変換されない。 (3) グルコースは、脂肪酸に変換される。 <input checked="" type="radio"/> (4) 糖質摂取量の増加は、たんぱく質の分解を促進する。 (5) 糖質摂取量の増加によって、ビタミン B ₁ の必要量は減少する。	問題72 空腹時と比べたときの食後の糖質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 骨格筋への血中グルコースの取り込みが抑制される。 (2) 肝臓グリコーゲンの合成が抑制される。 (3) グルコースからの脂肪酸の合成が亢進する。 <input checked="" type="radio"/> (4) 乳酸からのグルコースの合成が亢進する。 (5) アラニンからのグルコースの合成が亢進する。
第1回問題73 食後の脂質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 肝臓でのカルニチンの利用が亢進する。 (2) 脂肪組織中のトリグリセリド分解が亢進する。 (3) ホルモン感受性リバーゼの活性は上昇する。 (4) リポたんぱく質リバーゼの活性は上昇する。 <input checked="" type="radio"/> (5) 筋肉では、ケトン体がエネルギー源として利用される。	問題73 空腹時と比べたときの食後の脂質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 小腸上皮細胞でキロミクロンの合成が抑制される。 (2) 末梢血管でリポたんぱく質リバーゼの活性が抑制される。 (3) 骨格筋で β 酸化が亢進する。 (4) 脳でケトン体の利用が亢進する。 (5) 血中の遊離脂肪酸の放出が抑制される。 <input checked="" type="radio"/>
第3回問題73 脂質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) リノール酸は、エイコサペンタエン酸(EPA)の合成材料である。 (2) アセチル CoA カルボキシラーゼは、コレステロール合成の律速酵素である。 (3) 脱共役たんぱく質(UCP)は、褐色脂肪細胞よりも白色脂肪細胞に多く含まれる。 (4) 空腹時、脂肪酸からグルコースが合成される。 (5) 食後、リポたんぱく質リバーゼは活性化される。 <input checked="" type="radio"/>	問題74 脂肪酸および脂肪酸由来の生理活性物質に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。 (1) オレイン酸は、一価不飽和脂肪酸である。 (2) α -リノレン酸は、生体内で合成されない。 (3) EPA は、リノール酸から合成される。 <input checked="" type="radio"/> (4) アラキドン酸は、エイコサノイドの前駆体である。 (5) プロスタグランジンは、エイコサノイドの一種である。
第3回問題75 たんぱく質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) たんぱく質の摂取不足により、窒素出納が正になる。 (2) たんぱく質の摂取過剰により、ビタミン B ₆ の必要量が減少する。 (3) 体たんぱく質の合成は、インスリンにより促進される。 <input checked="" type="radio"/> (4) アルブミンは、トランスフェリンより代謝回転速度が速い。 (5) 空腹時には、筋たんぱく質の分解が抑制される。	問題75 たんぱく質・アミノ酸の体内代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) たんぱく質の摂取量が不足すると、窒素出納が正になる。 (2) たんぱく質の摂取量が不足すると、ビタミン B ₆ の必要量が増加する。 (3) たんぱく質の摂取量が増加すると、尿中尿素量が減少する。 (4) たんぱく質を過剰に摂取すると、アミノ酸の異化が抑制される。 (5) エネルギー摂取量が不足すると、たんぱく質の必要量が増加する。 <input checked="" type="radio"/>
第3回問題79 微量ミネラルに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) セレンは、セルロプラスミンと結合して血中に存在する。 (2) 銅は、グルタチオンペルオキシダーゼと結合して組織中に存在する。 (3) ヘモジデリンに含まれる鉄は、機能鉄である。 (4) ミオグロビンに含まれる鉄は、非ヘム鉄である。 (5) 腸管での銅の吸収率は、亜鉛の過剰により低下する。 <input checked="" type="radio"/>	問題78 ミネラルとそれを構成成分とする酵素の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 鉄 ————— セルロプラスミン (2) 亜鉛 ————— キサンチンオキシダーゼ (3) 銅 ————— カタラーゼ (4) セレン ————— グルタチオンペルオキシダーゼ <input checked="" type="radio"/> (5) モリブデン ————— スーパーオキシドジスムターゼ (SOD)
第1回問題80 水に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 単位重量当たりの代謝水は、糖質より脂質の方が多い。 <input checked="" type="radio"/> (2) 不感蒸泄では、水とともに電解質が失われる。 (3) 細胞外液は、体重の約 40% を占める。 (4) 不可避尿量は、水分摂取量によって変化する。 (5) 高張性脱水は、水に比べてナトリウムが多く喪失した場合にみられる。	問題80 水の出納に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 栄養素 1g 当たりの代謝水の量は、たんぱく質より脂質が多い。 <input checked="" type="radio"/> (2) 水分摂取量が増加すると、不可避尿量は増加する。 (3) 水分摂取量が不足すると、バソプレシンの分泌は減少する。 (4) 発汗では、ナトリウムの損失がない。 (5) 不感蒸泄量は、外気温の影響を受けない。
第2回問題80 35歳、体重 60 kg、BMI 22 kg/m ² 。基礎代謝量 0.9 kcal/kg 体重/時、安静時代謝量 1.0 kcal/kg 体重/時、身体活動レベル (PAL) 1.75 の男性が、4.0 メツツの運動を 30 分間行った時の総エネルギー消費量 (kcal) である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 108 (2) 120 <input checked="" type="radio"/> (3) 216 (4) 240 (5) 320	問題81 35歳、女性。身長 158 cm、体重 50 kg、BMI 20.0 kg/m ² 。基礎代謝基準値 22.0 kcal/kg 体重/日、安静時代謝量は基礎代謝量の 1.1 倍。5.0 メツツの活動を 2 時間行った。その 2 時間の総エネルギー消費量 (kcal) として、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 242 (2) 417 (3) 458 (4) 504 <input checked="" type="radio"/> (5) 726

2025年かんもしの問題	第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題
第3回問題82 栄養アセスメントに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 24時間尿中クレアチニン排泄量は、尿量の影響を受ける。 (2) ウエスト周囲長は、ウエストの最も細い箇所にて測定する。 (3) 肩甲骨下部皮下脂肪厚は、内臓脂肪面積の評価に用いられる。 (4) 穀素出納は、健常成人では平衡となる。〔〇〕 (5) トランスサイレチンは、半減期が約7日の血液成分である。	問題82 栄養アセスメントに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 上腕筋面積は、肩甲骨下部皮下脂肪厚と上腕周囲長から求める。 (2) 体脂肪率は、水中体重秤量法により推定できる。〔〇〕 (3) ウエスト周囲長は、息を吸った状態で測定する。 (4) 尿中クレアチニン排泄量は、測定前に摂取した食事たんぱく質の影響を受ける。 (5) 生体電気インピーダンス(BIA)法は、測定前に摂取した食事の影響を受けない。
第2回問題84 日本人の食事摂取基準(2020年版)の策定の基本的事項に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) エビデンスレベルは、ULの算定において示されている。 (2) EARを算定するに十分な科学的根拠が得られない場合には、AIが算定される。〔〇〕 (3) 成人の年齢区分は、20歳以上とされている。 (4) 参照体位は、性および各年齢の平均値である。 (5) 不確実性因子(UF)が用いられるのは、DGの算定である。	問題83 日本人の食事摂取基準(2020年版)における基本的事項に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) DGの設定対象とした生活習慣病の1つに、COPDがある。 (2) DGには、エビデンスレベルが付されている。〔〇〕 (3) 単糖は、AIが設定されている。 (4) 参照体位は、性・年齢区分別の望ましい体位である。 (5) 習慣的な摂取を把握するための期間は、3日間程度とされている。
第2回問題88 非妊娠時と比較した妊娠期の生理的変化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 心拍出量は、減少する。 (2) インスリン抵抗性は、低下する。 (3) プログステロン分泌は、継続する。〔〇〕 (4) ヘマトクリット値は、上昇する。 (5) 循環血液量は、減少する。	問題87 妊娠期の母体の生理的変化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 循環血液量は、減少する。 (2) 基礎代謝は、低下する。 (3) たんぱく質の同化は、抑制される。 (4) 血清総コレステロール値は、低下する。 (5) インスリン感受性は、低下する。〔〇〕
第2回問題86 日本人の食事摂取基準(2020年版)における、正常な妊娠・分娩を経た授乳婦の母乳のエネルギー量と体重減少分のエネルギー量である(表)。授乳婦が授乳期間中に妊娠前と比べて余分に摂取すべきと考えられるエネルギー量(kcal/日)として、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 250 (2) 344〔〇〕 (3) 450 (4) 517 (5) 690	問題88 日本人の食事摂取基準(2020年版)における授乳婦の推定エネルギー必要量(kcal/日)の求め方である。妊娠前の推定エネルギー必要量(kcal/日)をA、母乳のエネルギー量(kcal/日)をB、体重減少分のエネルギー量(kcal/日)をCとした算出式として、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) A (2) A+B (3) A+C (4) A+B+C (5) A+B-C〔〇〕
第2回問題92 更年期女性の生理的特徴に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 卵胞刺激ホルモン(FSH)の分泌量は、減少する。 (2) 耐糖能は、低下する。〔〇〕 (3) 血中LDLコレステロール値は、低下する。 (4) プログステロンの分泌量は、増加する。 (5) 骨形成は、骨吸収を上回る。	問題92 更年期の女性において、増加または上昇するものである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 血中プロゲステロン値 (2) 血中エストロゲン値 (3) 血中LDLコレステロール値〔〇〕 (4) 血管内皮細胞での一酸化窒素の合成 (5) 骨密度
第3回問題96 ストレス応答に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 警告反応期のショック相では、体温が上昇する。 (2) 警告反応期の反ショック相では、血圧が低下する。 (3) 抵抗期では、ホルモン感受性リバーゼ活性が亢進する。〔〇〕 (4) 抵抗期では、グルココルチコイドの分泌量が減少する。 (5) 疲はい期では、副腎縮小がみられる。	問題97 痵(全身)適応症候群に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 警告反応期のショック相では、血圧が低下する。〔〇〕 (2) 警告反応期の反ショック相では、血糖値が低下する。 (3) 抵抗期では、基礎代謝が低下する。 (4) 疲はい期では、副腎皮質の機能が亢進する。 (5) 疲はい期では、体温が上昇する。
第2回問題99 菓子の食べ過ぎが原因となっている肥満女性に対し個別相談を行った。計画的行動理論の「主観的規範」に基づいた支援である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 菓子を食べる回数や量を減らすことで、体重増加を抑えることができると説明する。 (2) 自分が菓子を食べ過ぎないことで、身体を心配してくれる家族を安心させたいという自分の気持ちに気づかせる。〔〇〕 (3) 菓子を食べた時刻やその時の状況をモニタリングシートに記録するよう提案をする。 (4) 菓子を食べ過ぎていた人が食べ過ぎを改めることができた事例を伝える。 (5) 以前、菓子を食べ過ぎずにいた状況と一緒に振り返る。	問題99 「趣味のスイーツ食べ歩きとSNS発信は、フォロワーのためにやめられない。」と話す、高度肥満の女性タレントである。体重が増え続けていることを気にして、栄養カウンセリングを受けることにした。計画的行動理論における、主観的規範を高める声かけとして、最も適切なのはどれか。1つ選べ。 (1) スイーツの食べ歩きをやめよう、と思ったことはありませんか。 (2) やめてしまうのではなく、食べ歩きの回数を減らしてみませんか。 (3) あなたの健康状態を心配する、フォロワーからのコメントはありませんか。〔〇〕 (4) ヘルシーなスイーツをたくさん紹介して、新たなフォロワー獲得につなげませんか。

2025年かんもしの問題	第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題
第3回問題103 <p>「仕事が忙しく、帰宅途中に居酒屋に寄って暴飲暴食してしまう。」と訴える新入社員に対する支援である。ストレスマネジメントのための質問とストレスコーピングの評価の組合せである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 今一番悩んでいるのは飲み過ぎることですか。―― 二次評価 (2) ご家族に仕事の悩みを聞いてもらえそうですか。―― 一次評価 (3) 上司に仕事量を調整してもらえそうですか。―― 問題焦点コーピング(O) (4) 今感じているストレスは自分で処理できそうですか。―― ソーシャルサポート (5) 仕事のストレスの解消法を同僚から聞くことはできますか。―― 情動焦点コーピング</p>	問題104 <p>ストレスマネジメントには、問題焦点コーピングと情動焦点コーピングがある。毎日の離乳食作りが負担になっている母親のストレスマネジメントである。母親の行動とコーピングの組合せとして、最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 友人に、離乳食作りの苦労について話を聞いてもらう。―― 問題焦点コーピング (2) 離乳食作りは一生続くわけではないと自分に言い聞かせる。―― 問題焦点コーピング (3) 夫婦で、離乳食作りの分担について話し合う。―― 問題焦点コーピング(O) (4) 負担を感じたときに利用できる市販の離乳食を常備する。―― 情動焦点コーピング (5) 離乳食作りの動画を視聴して、負担軽減の方法を考える。―― 情動焦点コーピング</p>
第3回問題105 <p>K企業に勤務する社員を対象に毎月開催している健康教室において、「適正体重になる」という目標達成にむけて参加者のグループダイナミクスの高まりが期待できる取組である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 適正体重にならなかった経験を参加者同士で共有して、行動目標を達成するための具体案を話し合ってもらう。(O) (2) 適正体重を実現した健康教室の修了生に体験談を話してもらう。 (3) 参加者が行動目標を自己決定して、発表してもらう。 (4) 参加者がK企業に勤務する管理栄養士に個別で栄養指導をしてもらう。</p>	問題105 <p>K大学では一人暮らしの1年生に対して、5月の連休明けに、自宅での食事作りをサポートすることになった。参加者のグループダイナミクスが期待できる取組として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 自宅で食事を作るようになった先輩の話を聞かせた上で、各自の感想をオンラインフォームに入力してもらう。 (2) 各自で、自宅での食事作りの目標を設定してもらう。 (3) 食事作りの悩みや苦労していることについて、グループに分かれて話し合ってもらう。(O) (4) グループに分かれて、インターネットで簡単そうなレシピを探してもらう。</p>
第2回問題106 <p>K大学では、自宅から通う大学生の朝食摂取頻度を向上させる取組を計画している。プリシード・プロシードモデルに基づいて行うアセスメント内容と、その項目の組合せである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 朝食摂取のメリットを知っている大学生の割合―― 準備要因(O) (2) 自宅から大学までの通学時間―― 教育戦略 (3) 早朝でも朝食を入手できる大学近くの店舗の数―― QOL (4) 自分で朝食を準備することができる大学生の割合―― 強化要因 (5) 朝食摂取の重要性を認識している保護者の割合―― 行動とライフスタイル</p>	問題106 <p>若い世代の魚離れが進んでいる漁港のある町で、子育て中の保護者を対象に魚食推進の食育プログラムを計画した。プリシード・プロシードモデルの項目とアセスメント内容の組合せとして、最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 行動とライフスタイル―― 漁港から魚類を安価で入手できる方法を知っている者の割合 (2) 環境―― 家庭で魚料理を作る頻度 (3) 準備要因―― 魚の調理を面倒と思わない者の割合(O) (4) 強化要因―― 地域のスーパー・マーケットにおける魚類の販売状況 (5) 実現要因―― 地場産の魚類の名前を知っている者の割合</p>
第3回問題108 <p>職場におけるメタボリックシンドロームの予防を目的とした栄養教育プログラムの目標内容と目標の種類の組合せである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 毎日自宅から駅まで20分歩く。―― 環境目標 (2) BMIが適切な範囲にある者を増やす。―― 実施目標 (3) 栄養教室の継続参加率を80%以上にする。―― 結果目標 (4) 社員食堂の献立の栄養成分表示を理解して活用できるようになる。―― 学習目標(O) (5) 社員食堂で提供するヘルシーメニューの品数を増やす。―― 行動目標</p>	問題108 <p>正常高値血圧の人を対象とした教室を開催することになり、栄養教育の目標を設定した。目標の内容と種類の組合せとして、最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 減塩調味料を常備している家庭の割合を、60%以上に増やす。―― 実施目標 (2) 食塩摂取量の目標が6g/日未満であることを知っている人の割合を、70%以上に増やす。―― 学習目標(O) (3) 減塩メニューがある飲食店を利用する人の割合を、50%以上に増やす。―― 環境目標 (4) 教室に最後まで参加した人の割合を、70%以上にする。―― 結果目標 (5) 半年後に参加者の収縮期血圧の平均値を、3mmHg下げる。―― 行動目標</p>
第3回問題109 <p>瘦身傾向のある中年女性を対象に、骨粗鬆症予防のための栄養教育プログラムを実施した。プログラム実施後の変化と評価の種類の組合せである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 教育担当者がオンライン講義のための通信環境を整えた。―― 形成的評価(O) (2) 牛乳・乳製品を毎日摂取する者が増えた。―― 結果評価 (3) プログラム開始から1年間で約半数に骨密度の増加がみられた。―― 経過評価 (4) 骨粗鬆症とカルシウムの関係を理解している者が増えた。―― 企画評価 (5) 配信した動画教材に対する満足度が高かった。―― 影響評価</p>	問題110 <p>地域在住高齢者を対象に、フレイル予防の食事講座を5回シリーズで開催した。事業に対する評価の内容と種類の組合せである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 講座終了後に参加者同士のグループが形成され、仲が深まったと感じている者の割合―― 企画評価 (2) 講座で使用した教材は分かりやすかったと回答した者の割合―― 経過評価(O) (3) 講座終了後に食品摂取の多様性得点が改善した者の割合―― 形成的評価 (4) 講座の参加費が適正であると回答した者の割合―― 経済評価 (5) フレイル予防には食事が大切であると理解できた者の割合―― 結果評価</p>
第2回問題111 <p>臨床栄養の用語とその内容の組合せである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) clinical path (CP)―― 障がい者と健常者との共生 (2) normalization―― 患者の積極的な治療への参加 (3) informed consent (IC)―― 患者への説明と同意(O) (4) nutrition support team (NST)―― 低栄養診断国際基準 (5) global leadership initiative on malnutrition (GLIM)―― 標準化された治療計画</p>	問題112 <p>臨床栄養における行為とそれに対応する用語の組合せである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <p>(1) 患者が治療に積極的に参加する。―― クリニカルパス (2) 栄養食事指導前に患者の氏名を確認する。―― 守秘義務 (3) 患者の低栄養の重症度を判定する。―― リスクマネジメント (4) 栄養介入の内容を患者に説明し、同意を得る。―― インフォームド・コンセント(O) (5) 患者が医師の指示に従い治療を受ける。―― ノーマリゼーション</p>

2025年かんもしの問題	第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題
第2回問題115 静脈栄養法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 脂肪乳剤は、脂肪として $1\text{ g/kg 体重}/\text{時}$ 以下で投与する。 (2) 中心静脈栄養法の基本輸液剤には、モリブデンが含まれる。 (3) 末梢静脈栄養法では、 $2,000\text{ kcal}/\text{日}$ を投与できる。 (4) 末梢静脈栄養法では、浸透圧 285 mOsm/L の輸液を投与できる。 <input checked="" type="radio"/> (5) 細胞外液の喪失では、低張電解質輸液を投与する。	問題115 静脈栄養法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 末梢静脈栄養では、 $2,500\text{ kcal}/\text{日}$ の投与ができる。 (2) 末梢静脈栄養では、浸透圧比（血漿浸透圧との比）を5とする。 (3) 脂肪は、 $1.5\text{ g/kg}/\text{時}$ の速度で投与する。 (4) 中心静脈栄養では、糖質濃度 20% の維持液の使用が可能である。 <input checked="" type="radio"/> (5) 中心静脈栄養は、経腸栄養に比べてバクテリアルトランスロケーションを起こしにくい。
第2回問題117 食事・食品が医薬品に及ぼす影響に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 青汁は、ワルファリンの作用を増強する。 (2) 牛乳は、ビスホスホネート薬の作用を増強する。 (3) グレープフルーツジュースは、カルシウム拮抗薬の作用を増強する。 <input checked="" type="radio"/> (4) セント・ジョーンズ・ワートは、シクロスボリンの作用を増強する。 (5) 高たんぱく質食は、レボドバ（L-ドーバ）の作用を増強する。	問題117 食品が医薬品に及ぼす影響に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 牛乳は、ビスホスホネート薬の効果を減弱する。 <input checked="" type="radio"/> (2) グレープフルーツジュースは、カルシウム拮抗薬の効果を減弱する。 (3) クロレラは、ワルファリンの効果を増強する。 (4) セント・ジョーンズ・ワートは、テオフィリンの効果を増強する。 (5) 納豆は、スタチンの効果を増強する。
第2回問題118 栄養素とその過剰によって生じる疾患の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) ビタミンA——夜盲症 (2) ビタミンC——壞血病 (3) マンガン——メンケス病 (4) 銅——ウェルニッケ脳症 (5) 鉄——ヘモクロマトーシス <input checked="" type="radio"/>	問題118 大規模災害の被災地で、数か月にわたり在宅避難している高齢者の栄養アセスメントを行った。その中に皮下出血や歯茎からの出血がみられる者がいた。この症状から欠乏が疑われるビタミンとして、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) ビタミンA (2) ビタミンB ₁ (3) ビタミンB ₂ (4) ナイアシン (5) ビタミンC <input checked="" type="radio"/>
第1回問題120 脂質異常症の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 高トリグリセリド血症では、果糖を多く含む食品の摂取を控える。 <input checked="" type="radio"/> (2) 高トリグリセリド血症では、n-6系多価不飽和脂肪酸の摂取を増やす。 (3) 高カイロミクロン血症では、脂肪エネルギー比率を 20% E 以下とする。 (4) 低HDLコレステロール血症では、トランス脂肪酸の摂取を増やす。 (5) 高LDLコレステロール血症では、コレステロール摂取量を $400\text{ mg}/\text{日}$ 未満とする。	問題120 高キロミクロン血症の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 炭水化物の摂取エネルギー比率を 65% E 以上とする。 (2) 脂肪の摂取エネルギー比率を 15% E 以下とする。 <input checked="" type="radio"/> (3) n-3系多価不飽和脂肪酸の摂取を制限する。 (4) 果汁飲料の摂取を増やす。 (5) アルコールの摂取量の上限を $40\text{ g}/\text{日}$ とする。
第2回問題122 クローン病の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 活動期には、エネルギー摂取量を制限する。 (2) 活動期の経腸栄養法では、成分栄養剤が第一選択に用いられる。 <input checked="" type="radio"/> (3) 活動期の経腸栄養法では、開始時より維持量を投与する。 (4) 寛解期には、高脂肪食が推奨される。 (5) 腸管狭窄がある場合には、不溶性食物繊維を積極的に摂取する。	問題123 消化器疾患と摂取を制限すべき栄養素等の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 逆流性食道炎——炭水化物 (2) 胆石症——カルシウム (3) たんぱく質漏出性胃腸症——たんぱく質 (4) 潰瘍性大腸炎寛解期——水分 (5) クローン病活動期——脂肪 <input checked="" type="radio"/>
第1回問題126 心不全の病態と栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 血中BNP（脳ナトリウム利尿ペプチド）値は、低下する。 (2) 左心不全では、全身の浮腫がみられる。 (3) 慢性心不全では、エネルギー摂取量を $50\text{ kcal/kg 標準体重}/\text{日}$ とする。 (4) 腎機能障害のない慢性心不全では、たんぱく質摂取量を $0.8\text{~}1.0\text{ g/kg 体重}/\text{日}$ とする。 (5) うっ血性心不全では、食塩制限により前負荷が軽減される。 <input checked="" type="radio"/>	問題125 75歳、女性。心不全。軽度の身体活動で呼吸苦があり、状態が悪化して入院となった。浮腫も認められ、利尿薬の投与が開始された。身長 150 cm、体重 45 kg、BMI 20.0 kg/m ² 。空腹時の血液検査値は、ナトリウム 135 mEq/L、カリウム 4.0 mEq/L、クレアチニン 0.6 mg/dL。かろうじて経口摂取ができる。この患者の1日当たりの目標栄養量として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。 (1) エネルギーは、 $1,600\text{ kcal}$ とする。 (2) たんぱく質は、 60 g とする。 <input checked="" type="radio"/> (3) 食塩は、 3 g とする。 (4) 水分は、 $2,000\text{ mL}$ とする。
第2回問題113 高血圧症患者の食塩摂取量を推定するために、24時間蓄尿を行ったところ、尿量が 1.7 L 、尿中ナトリウム濃度が 140 mEq/L であった。尿中食塩排泄量（g/日）として、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 8 (2) 10 (3) 11 (4) 13 (5) 14 <input checked="" type="radio"/>	問題126 45歳、女性。会社員。CKD。身長 153 cm、体重 50 kg、BMI 21.4 kg/m ² 。血圧 145/92 mmHg。食塩摂取量を推定するために24時間蓄尿を行ったところ、尿量 1.0 L 、尿中ナトリウム濃度 255 mEq/L であった。この患者の尿中食塩排泄量（g/日）として、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 5 (2) 8 (3) 10 (4) 12 (5) 15 <input checked="" type="radio"/>

2025年かんもしの問題	第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題
第2回問題125 腎・尿路系疾患の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 急性系球体腎炎では、エネルギー摂取量を 20 kcal/kg 標準体重/日とする。 (2) 微小変化型ネフローゼ症候群では、たんぱく質摂取量を 0.8 g/kg 標準体重/日とする。 (3) 糖尿病腎症第3期では、食塩摂取量を 6 g/日未満とする。〔O〕 (4) CKD ステージG3b では、カリウムの摂取量を 1,500 mg/日以下とする。 (5) 尿路結石では、水分摂取量を制限する。	問題127 62歳、男性。無職。糖尿病腎症。身長 165 cm、体重 63 kg、目標体重 60 kg。血压 148/92 mmHg。空腹時の血液検査値は、血糖 151 mg/dL、HbA1c 8.4%、尿素窒素 38 mg/dL、クレアチニン 1.3 mg/dL、eGFR 45 mL/min/1.73 m ² 、カリウム 5.7 mEq/L。尿アルブミン/クレアチニン比 350 mg/gCr。この患者の1日当たりの目標栄養量として、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) エネルギーは、2,200 kcal とする。 (2) たんぱく質は、30 g とする。 (3) 脂肪は、20 g とする。 (4) 食塩は、7.5 g とする。 (5) カリウムは、1,800 mg とする。〔O〕
第2回問題131 食物アレルギーに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 鶏卵は、加熱によって抗原性が増大する。 (2) 落花生は、ローストによって抗原性が増大する。〔O〕 (3) 牛乳アレルギーでは、カルシウムの摂取量を制限する。 (4) 小麦アレルギーでは、片栗粉を除去する。 (5) カシューナッツアレルギーでは、クルミを除去する。	問題133 食物アレルギーと除去対象となる食品・原材料の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 牛乳アレルギー ——— 牛肉 (2) 鶏卵アレルギー ——— 卵殻カルシウム (3) 大豆アレルギー ——— 緑豆もやし (4) カシューナッツアレルギー ——— ピスタチオ 〔O〕 (5) 小麦アレルギー ——— 麦芽糖
第2回問題133 消化管手術後の病態と栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 後期ダンピング症候群は、インスリン分泌不足によって生じる。 (2) 胃切除後では、骨粗鬆症のリスクが低下する。 (3) 胆囊摘出後では、葉酸の吸収障害がみられる。 (4) 回腸切除後では、ビタミンB ₁₂ の吸収障害がみられる。〔O〕 (5) 大腸切除後では、水分の摂取を制限する。	問題134 イレウスにより空腸の一部、回腸全体および回盲弁を切除し、空腸と結腸を吻合した。残存小腸は約 100 cm であった。この患者の病態の経過および栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 第Ⅰ期(術直後期)には、腸蠕動が運動の亢進後に腸管痙攣が起こる。 (2) 第Ⅰ期(術直後期)には、経腸栄養法とする。 (3) 第Ⅱ期(回復適応期)には、下痢の回数が増加する。 (4) 第Ⅱ期(回復適応期)には、経口摂取を禁忌とする。 (5) 第Ⅲ期(定期期)には、ビタミンB ₁₂ を注射により補給する。〔O〕
第3回問題135 先天性代謝異常症とその栄養管理で制限する栄養素の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 糖原病Ⅰ型 ——— グルコース (2) ガラクトース血症 ——— フルクトース (3) メーブルシロップ尿症 ——— ロイシン 〔O〕 (4) ホモシスチン尿症 ——— シスチン (5) フェニルケトン尿症 ——— チロシン	問題136 メーブルシロップ尿症の治療用ミルクで除去されているアミノ酸である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) フェニルアラニン (2) トリプトファン (3) メチオニン (4) ロイシン 〔O〕 (5) スレオニン
第3回問題137 公衆栄養活動に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 傷病者の社会復帰が目的に含まれる。 〔O〕 (2) フードファーディズムを推進する。 (3) 集団を構成する個人は対象外となる。 (4) ハイリスクアプローチでは、対象者を限定せずに社会全体に働きかける。 (5) コミュニティオーガニゼーションは、行政機関が主体となる。	問題137 公衆栄養活動に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 傷病者の治療を目的として行う。 (2) ソーシャルキャピタルは、公衆栄養活動のための財源である。 (3) コミュニティオーガニゼーションは、住民参加を通して、地域に存在する諸問題を解決に導く過程である。〔O〕 (4) ポビュレーションアプローチでは、特定健康診査においてリスクありと判定された個人に対して、働きかけを行う。 (5) エンパワーメントのための公衆栄養活動は、自治体が中心となって行う。
第2回問題139 わが国の食料自給率のうち、品目別自給率(重量ベース)の年次推移を図に示した。図のa～dに相当する食品の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 a b c d (1) 米 ——— 肉類 ——— 野菜 ——— 豆類 (2) 鶏卵 ——— 野菜 ——— 肉類 ——— 豆類 〔O〕 (3) 米 ——— 肉類 ——— 豆類 ——— 野菜 (4) 鶏卵 ——— 野菜 ——— 豆類 ——— 肉類 (5) 米 ——— 豆類 ——— 野菜 ——— 肉類	問題139 食料需給表から算出された、わが国の食料自給率のうち、米・野菜・果実・鶏卵の品目別自給率(重量ベース)の年次推移である(図)。鶏卵については、飼料自給率を考慮した値である。図のa～dに該当する食品の組合せとして、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 a b c d (1) 鶏卵 ——— 米 ——— 果実 ——— 野菜 (2) 鶏卵 ——— 米 ——— 野菜 ——— 果実 (3) 米 ——— 鶏卵 ——— 野菜 ——— 果実 (4) 米 ——— 果実 ——— 野菜 ——— 鶏卵 (5) 米 ——— 野菜 ——— 果実 ——— 鶏卵 〔O〕
第3回問題140 諸外国の健康・栄養問題に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) stunting とは、年齢に対して体重が低い状態である。 (2) double burden of malnutrition とは、marasmus と kwashiorkor が同時に存在している状態である。 (3) nutrition transition では、脂質の摂取量の増加がみられる。〔O〕 (4) iodine deficiency は、開発途上国の中における視力障害の原因となっている。 (5) non-communicable diseases による死亡は、全世界の死因の約3割を占める。	問題140 世界の健康・栄養問題の現状と課題に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 死亡者数は、NCDs によるものが最も多い。〔O〕 (2) COVID-19 は、NCDs に分類される。 (3) 2000 年以降、低中所得国の NCDs による死亡者数は、減少傾向にある。 (4) 主要先進国(G7)においては、過去 20 年で成人の肥満者の割合が減少している。 (5) 日本におけるナトリウム摂取量は、北アメリカに比べて少ない。

2025年かんもしの問題	第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題
第3回問題141 健康増進法に定められている施策とその実施者の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 国民健康・栄養調査の世帯の選定 ————— 内閣総理大臣 (2) 食事摂取基準の策定 ————— 厚生労働大臣 (○) (3) 栄養指導員の任命 ————— 農林水産大臣 (4) 特定給食施設に対する栄養管理の実施に必要な指導 ————— 厚生労働大臣 (5) 特別用途表示の許可 ————— 都道府県知事	問題141 健康増進法に定められている事項と、その実施者の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 食事摂取基準の策定 ————— 内閣総理大臣 (2) 特別用途表示の許可 ————— 内閣総理大臣 (○) (3) 国民健康・栄養調査の調査世帯の指定 ————— 厚生労働大臣 (4) 栄養指導員の任命 ————— 厚生労働大臣 (5) 健康診査の実施等に関する指針の策定 ————— 都道府県知事
第2回問題142 栄養士法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 管理栄養士制度は、栄養士制度と同時に設けられた。 (2) 管理栄養士の免許は、内閣総理大臣が与える。 (3) 管理栄養士の名称の使用制限について規定されている。(○) (4) 栄養士は、傷病者に対する療養のために必要な栄養指導を行う者と規定されている。 (5) 行政栄養士の定義が示されている。	問題142 栄養士法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 大正時代に制定された。 (2) 栄養士は、特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設において、特別の配慮を必要とする給食管理を行うことを業とする者と定義されている。 (3) 管理栄養士は、傷病者に対する療養のために必要な栄養の指導を行うことを業とする者と定義されている。(○) (4) 管理栄養士免許は都道府県知事が与えることについて定めている。 (5) 国民健康・栄養調査員の任命について定めている。
第3回問題142 わが国の食育推進と食育基本法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 食育推進会議は、厚生労働省に設置されている。 (2) 都道府県は、食育推進計画を作成しなければならない。 (3) 栄養教諭の配置は、食育基本法で規定されている。 (4) 食育推進基本計画の実施期間は、3年間である。 (5) 第4次食育推進基本計画の重点事項として、「持続可能な食を支える食育の推進」が掲げられている。(○)	問題144 第4次食育推進基本計画に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 各都道府県において策定されている。 (2) 計画期間は、12年間である。 (3) 「持続可能な食を支える食育の推進」を重点事項としている。(○) (4) 「20歳未満の者の飲酒をなくす」という目標項目がある。 (5) 食育推進計画を作成・実施している市町村を80%にする目標値を設定している。
第2回問題143 国民健康・栄養調査の実施に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 日本国民を対象とした全数調査である。 (2) 調査の企画立案は、各都道府県が行う。 (3) 栄養摂取状況調査には、食物摂取頻度調査法を用いる。 (4) 栄養素等摂取量は、調理による変化を考慮している。(○) (5) 生活習慣調査票には、未成年者の喫煙状況についての調査項目がある。	問題145 国民健康・栄養調査に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 対象者は、住民基本台帳から無作為に抽出する。 (2) 栄養摂取状況調査の対象者は、6歳以上である。 (3) 栄養摂取状況調査は、日曜日または祝祭日に実施する。 (4) 栄養摂取状況調査は、陰陽法を用いる。 (5) 栄養素等摂取量の算出では、調理による食品中の栄養素量の変化を考慮している。(○)
第2回問題149 日本人の食事摂取基準(2020年版)を活用して、成人集団を対象とした食事改善計画を立案する際の目標設定に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) エネルギー摂取量の中央値がEER付近になるようにする。 (2) 栄養素摂取量の中央値がAI付近またはそれ以上になるようにする。(○) (3) 栄養素摂取量の中央値がUL未満になるようにする。 (4) 栄養素摂取量の平均値がDGの範囲内になるようにする。 (5) 栄養素摂取量の平均値がRDA付近またはそれ以上になるようにする。	問題148 K地域における20歳台女性100人のBMIの分布である(図)。この集団のエネルギー摂取状況について、日本人の食事摂取基準(2020年版)を用いて評価した。この評価に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) BMIの中央値のある階級は、17.5~18.0kg/m ² である。 (2) BMIの中央値と平均値は、同じである。 (3) エネルギー摂取量の不足者の割合は、35%である。(○) (4) エネルギー摂取量の過剰者の割合は、16%である。 (5) エネルギー摂取量が適切である者の割合は、30%である。
第1回問題148 公衆栄養マネジメントに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 公衆栄養マネジメントの対象は、地域的な範囲に限られる。 (2) プリシード・プロシードモデルの最終目標は、公衆栄養プログラムの実施である。 (3) 目的設定型アプローチでは、専門家が現状分析した課題に対し住民参加を求める。 (4) 地域の社会資源には、ボランティア団体は含まれない。 (5) 公衆栄養活動の実施中も実施状況を評価し、公衆栄養プログラムを修正する。(○)	問題149 公衆栄養マネジメントに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。 (1) 地域診断の結果を基に、PDCAサイクルに従って進める。 (2) プリシード・プロシードモデルの最終目標は、QOLの向上である。 (3) 課題解決型アプローチでは、目指す姿を、専門家ではなく住民が主体となって決定する。(×) (4) 目標達成までの取組期間を明示する。 (5) 投入した資源に対する、公衆栄養活動の効果を評価する。
第3回問題149 公衆栄養アセスメントに用いる情報とその情報が得られる既存資料の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 市町村における食品ロスの実態 ————— 国民生活基礎調査 (2) 死因別死亡率 ————— 国勢調査 (3) 学校給食調理員の配置数 ————— 学校保健統計調査 (4) 乳幼児の朝食習慣 ————— 乳幼児栄養調査(○) (5) 介護が必要な者の状況 ————— 患者調査	問題150 公衆栄養アセスメントに用いる統計情報とその出典の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 平均寿命 ————— 国民生活基礎調査 (2) 幼児の朝食習慣 ————— 乳幼児栄養調査(○) (3) 学校給食実施率 ————— 学校保健統計調査 (4) 食中毒の患者数 ————— 感染症発生動向調査 (5) 健診・人間ドックの受診状況 ————— 患者調査

2025年かんもしの問題	第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題
第3回問題153 健康増進法に基づく、特定給食施設と管理栄養士の配置に関する組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 1回200食を提供する病院 ————— 配置しなければならない。 (2) 1回300食を提供する介護老人保健施設 ————— 配置しなければならない。 (O) (3) 1回500食を提供する介護老人福祉施設 ————— 配置するよう努めなければならない。 (4) 1日750食を提供する養護老人ホーム ————— 配置しなければならない。 (5) 1日1,500食を提供する事業所 ————— 配置するよう努めなければならない。	問題154 健康増進法に基づく、特定給食施設と管理栄養士の配置に関する組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 昼食を100食提供する保育所 ————— 配置しなければならない。 (2) 朝食、昼食、夕食をそれぞれ150食提供する介護老人福祉施設 ————— 配置しなければならない。 (3) 朝食、昼食、夕食をそれぞれ250食提供する介護老人保健施設 ————— 配置しなければならない。(O) (4) 朝食、昼食、夕食を合わせて800食提供する病院 ————— 配置するよう努めなければならない。 (5) 従業員の8割が利用する、1日1,500食提供する従業員食堂 ————— 配置するよう努めなければならない。
第3回問題155 特定給食施設とその施設において外部委託が認められている業務の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 病院 ————— 作業指示書の作成 (O) (2) 介護老人保健施設 ————— 食事箋の管理 (3) 保育所 ————— 検食 (4) 小学校 ————— 献立作成 (5) 事業所 ————— 利用者の栄養管理	問題157 小学校の給食業務を外部委託している自治体が、給食受託会社に委託できる業務である。誤っているのはどれか。1つ選べ。 (1) アレルギー対応の献立作成 (X) (2) 食材料の調達 (3) 調理従事者の健康チェック表の点検・確認 (4) 調理作業時の異物の確認 (5) 調理機器の保守点検
第1回問題159 給食の原価に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) パートタイムの調理従事者の給料は、経費である。 (2) 調理従事者の健康診断の費用は、労務費である。 (3) 調味料の購入費は、経費である。 (4) 利益は、総原価に含まれる。 (5) 損益分岐点は、労務費の削減により低下する。(O)	問題159 食単価契約で給食を運営しているK事業所における、給食販売価格の構成である(図)。図のa～cに該当する用語の組合せとして、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 a b c (1) 直接費 ————— 製造原価 ————— 利益 (2) 直接費 ————— 製造原価 ————— 売上高 (3) 直接費 ————— 総原価 ————— 利益 (4) 製造原価 ————— 総原価 ————— 利益 (O) (5) 製造原価 ————— 総原価 ————— 売上高
第1回問題157 給食におけるマーケティング・ミックスの4Pとその内容の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) スマートミールの基準に合った献立の立案 ————— プロモーション(Promotion) (2) テイクアウト用弁当の販売方法の検討 ————— プレイス(Place) (O) (3) ディスプレイのレイアウト変更 ————— プロダクト(Product) (4) 食材料の流通経路の変更 ————— プライス(Price) (5) 新規メニュー発売情報の配信 ————— プレイス(Place)	問題160 ある社員食堂では、利用率を高めるための対策を検討している。取り組む内容とマーケティング用語の組合せとして、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 提供メニューが購入された時間と食数の情報を管理する。 ————— merchandising (2) 売上成長率と売上構成比から、既存メニューの位置づけを知る。 ————— product portfolio management (O) (3) 期間限定メニューを商品化する計画を立てる。 ————— point of sales (4) 新規メニューの写真入りポスターを社内に掲示する。 ————— place (5) 新規メニューをティーアウトコーナーで販売する。 ————— promotion
第2回問題161 K社員食堂において200食の味噌汁を調理する。1食当たり150gのだし汁の食塩調味濃度を0.8%とした場合の味噌の予定総使用量(kg)である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。ただし、使用する味噌100g当たりの食塩相当量は12.4g、だし汁100g当たりの食塩相当量は0.1gとする。 (1) 0.2 (2) 1.7 (O) (3) 2.1 (4) 2.4 (5) 3.1	問題163 プロッコリーのサラダを調理する。1人当たりの純使用量を60g、廃棄率を40%とした場合、300人分のプロッコリーの使用量(kg)として、最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) 10.8 (2) 18.0 (3) 25.2 (4) 30.0 (O) (5) 45.0
第2回問題164 給食のオペレーションシステムに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) コンベンショナルシステムでは、給食の生産から提供までを同一施設で連続して行う。(O) (2) レディフードシステムでは、調理済みの料理を購入し、加熱して提供する。 (3) クックチルシステムでは、加熱調理後60分以内に中心温度10°C付近まで冷却する必要がある。 (4) カミサリーシステムとは、マーケティング活動に活用されるシステムである。 (5) POSシステムとは、衛生管理を行うためのシステムである。	問題165 給食の生産・提供システムに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。 (1) コンベンショナルシステムでは、前倒し調理による計画生産が可能である。 (2) セントラルキッチンシステムでは、サテライトキッチンで調理した料理をセントラルキッチンに配送する。 (3) 真空調理システムでは、低温加熱により食材料の風味を逃さず軽らかく調理することができる。(O) (4) クックサーブシステムでは、調理した料理を急速冷凍して、提供日まで保管する。 (5) クックチルシステムでは、加熱調理後の料理を90分以内に5°Cまで冷却する。

2025年かんもしの問題

第2回問題168

大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた食品の温度管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) アサリの味噌汁の調理加熱時の計測温度が78°Cであったため、出来上がりとした。
- (2) ほうれん草をゆで上げた後60分間で15°Cまで冷却した。
- (3) 焼き魚の表面温度が76°Cであったため、出来上がりとした。
- (4) 加熱調理後の温菜を30分以上保存するため、保温設備の温度を67°Cに設定した。〔O〕
- (5) 調理加熱温度が適正に遵守されている場合、配達過程においては食品の温度管理を行う必要はない。

第2回問題167

特定給食施設において始業前の衛生確認を実施した結果である。改善が必要なものとして、最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 検食(保存食)用の冷凍庫の庫内温度が-26°Cであった。
- (2) 昆虫を見ついたため、来月駆除するよう依頼した。〔O〕
- (3) 使用水の遊離残留塩素濃度が0.2mg/Lであった。
- (4) 食肉を保存する冷蔵庫の庫内温度が8°Cであった。
- (5) 調理場の温度が24°C、湿度が78%であった。

第39回(2025年)管理栄養士国家試験問題

問題168

給食施設において、鮭のムニエル(付け合わせ:トマト)を調理した。各調理工程における衛生管理上の問題とその際の対応に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 鮭の検査時の温度が8°Cであったため、急速冷却した。
- (2) トマトの殺菌用の次亜塩素酸ナトリウム溶液の濃度が20mg/Lであつたため、殺菌時間を5分間から15分間に延長した。
- (3) 消毒済みのトマトを魚用のバットで保管したため、トマトの細菌検査を実施した。
- (4) 鮭の加熱調理時の中心温度が70°Cであったため、75°C以上になるまで加熱を続け1分間維持した。〔O〕
- (5) 鮭のムニエルを保温するウォーマーの温度が50°Cであったため、鮭をスチームコンベクションオーブンで再加熱した。

問題169

大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 手指に化膿創がある場合は、手袋を着用して調理を行う。
- (2) フードカッターの取扱いは、床面から30cmの場所で行う。
- (3) 加熱調理後に冷却した食品の一時保管は、下処理室で行う。
- (4) 貯水槽の水を使用する場合は、遊離残留塩素が0.1mg/L以上であることを確認する。〔O〕
- (5) 使用後の容器は、洗浄後60°Cで5分間の加熱殺菌をする。

2025年5月30日時点